



男女工達に恵まれる

片倉製糖製糸の年末

大部分郷里の生活の授けに送られる業手割の賞與

平町の片倉製糖製糸工場が工場内に催されて一月は現在三百八十名の工女と一日は勿論お休み、二日に男工六十名に安全な職を探し始めをして二月十五日から三月卅一日まで中央會社を勤めてゐる此の男女工達に月何回かの

休日毎に三々五々

相携ふる門外の樂しげなる態は現下の景況を鑑みれば業苦もなければ生活難もななく昔と打つて變つた羨望の的となつてゐるが更に年迫る賞與金の

配當が近づいた

で男女工達の喜びは一と通りでなく多くは距たる郷里への家計の授けに送られるやうであるが、糸價暴落に逢つた本年の歳末賞與は従來の

業手に對する一割

は若干減らされるらしく夫れも二百五十圓を前後する取上げに二十圓以上の給與は確實で本年の暮まで働く第三日曜日に活動寫真その他の餘興を添へた慰安

植田町の農産品評

十三日から三日間小學校で

普通客車の時間短縮

今日その速度試験を行ふ

傷害沙汰

惠比壽講の夜

人命救助

表彰さる

俳句

満莊壽主人

新聞

七百餘圓の廣告を募集する

短歌

木枯の吹きとぎれたる一瞬に支那そばの笛、さむくくと聴く (長谷川)

縣農會の主催せる

第二回馬耕競技會

平町選手二名は共に入賞

能練の技を見せて

事實無根の吹聴

流言ひ語で

穀檢入口

今朝自轉車

物騒なる

平の人事

出生

平町選手二名は共に入賞

能練の技を見せて

事實無根の吹聴

流言ひ語で

穀檢入口

今朝自轉車

物騒なる

平の人事

出生

新聞

七百餘圓の廣告を募集する

傷害沙汰

惠比壽講の夜

人命救助

表彰さる

俳句

満莊壽主人

新聞

七百餘圓の廣告を募集する

短歌

木枯の吹きとぎれたる一瞬に支那そばの笛、さむくくと聴く (長谷川)

新聞

七百餘圓の廣告を募集する

短歌

木枯の吹きとぎれたる一瞬に支那そばの笛、さむくくと聴く (長谷川)

傷害沙汰

惠比壽講の夜

人命救助

表彰さる

俳句

満莊壽主人

新聞

七百餘圓の廣告を募集する

短歌

木枯の吹きとぎれたる一瞬に支那そばの笛、さむくくと聴く (長谷川)

新聞

七百餘圓の廣告を募集する

短歌

木枯の吹きとぎれたる一瞬に支那そばの笛、さむくくと聴く (長谷川)



産米の改良に就て

稲摺の巻

次に普通土白を使用する者の爲に一言して置きたいことは新しき白を初めて使用する際には最初から優良粉を掛けてはならぬ、摺磨が新しいため必ず摺磨がつかれない故に初め吹分けたる粉を掛けて一、二時間すり廻しすり歯を少し磨き擦せしめた後に粉を除去して優良粉をかくれば摺磨米が生じない、又如何なる機械を使用するにしても最初以前記の様に機械の具合を充分試験したる後に本分の優良粉を掛けなければ不慮の損失をすることがある

米調製の巻

前篇に於て米の生命は乾燥なりと謂ふたが米の品位は調製にあることを忘れてはならぬ、如何に乾燥の良い米質優良なる米でも其調製不良即ち粗々なる調製を施されたるために米の中に粉粒や死細米、碎米、土砂塵芥等種々なる夾雑物が混着して在つては上品なる米とは謂はれない故に米の調製は乾燥と相俟つて良好を期さねばならぬ米の調製は其の生産者の氣持次第で如何様にも出来る仕事である故に米の調製の善悪は幾分

其地方の習慣にもあるけれども多くは其生産者の氣質に依るものと考へられる故に或る数量の玄米を見るならば其米の生産者の性格が質が能く解るものであると老練せる米検査員が語る言葉である

平町 市原 院 醫 淋病 梅毒 兒科 外科

電話 四一〇一

恐怖時代の 動脈硬化症 豫防及治療 新藥

アイヨール錠

試用 二圓
中瓶 六圓
大瓶 廿圓

發賣以來 白熱的に 歡迎せらる

特約店 山野邊藥局 平町五丁目

アゲア

幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本劑のみ

肺病、肋膜炎、肺炎カタル等

定價(一圓、四圓、六圓)

平町五丁目角 特約店 山野邊藥局

婦人五名募集

容姿端麗ニシテ 相當教養アル方

年齢二十才以上三十才迄

御希望ノ方ハ、履歷書持参シ午後一時ヨリ御來店を乞フ

平町 田町

イワキサロン 電話三五二番

煙突は 朝日

石綿セメント製

絶対的 経済的

金屋商店

開店披露

永らく皆様の御負を戴きました 叶屋を廢めまして私此の度左記料理店を開きました何卒倍舊の御引立を願ひます

十一月二十七日

君乃家

平町田町(元千鳥跡) 電話三八二番

磐城名産 表代銘酒

味美 經濟 濟

ヤマザル醬油

山崎合名會社 電話十番

七五三祝

御暮禮贈答品

セツルヤから!

子供服 毛シャツ
オーバー マント
帽子 子
襪 下
毛糸製品 化粧石鹼
子供靴 半打三十錢
箱 追 カクニ石鹼
等 三ヶ三十錢

ツヤ

〇四一話電 目丁四町平

外科、小兒科 平町、電話五二三番

外科、花柳病科

耳鼻咽喉科

レントゲン科

院長 醫學士高久忠

高久病院

玉屋洋品店

平町田町 電話六五六番

よい貸家 があります

▲場所 平町字四軒町で閑靜な所

▲家屋 玄關付八疊三間、六疊一間、三疊一間、高尚な造作であります 外に湯殿付 前に庭園裏に菜圃、家庭用蔬菜栽培に好適

宅地二百坪

◎家賃其他は面談の上

平町字田町 室橋 電話六五六番

安價に 迅速に 親切に

福島縣石城郡平町

遠藤活版所

電話二七七番